

2 管理区分および施業計画

1

国分寺崖線
(若葉町)

基本方針

利用の方針 ◆全体として急こう配であり,崩壊跡もみられることから閉鎖的な管理とする。

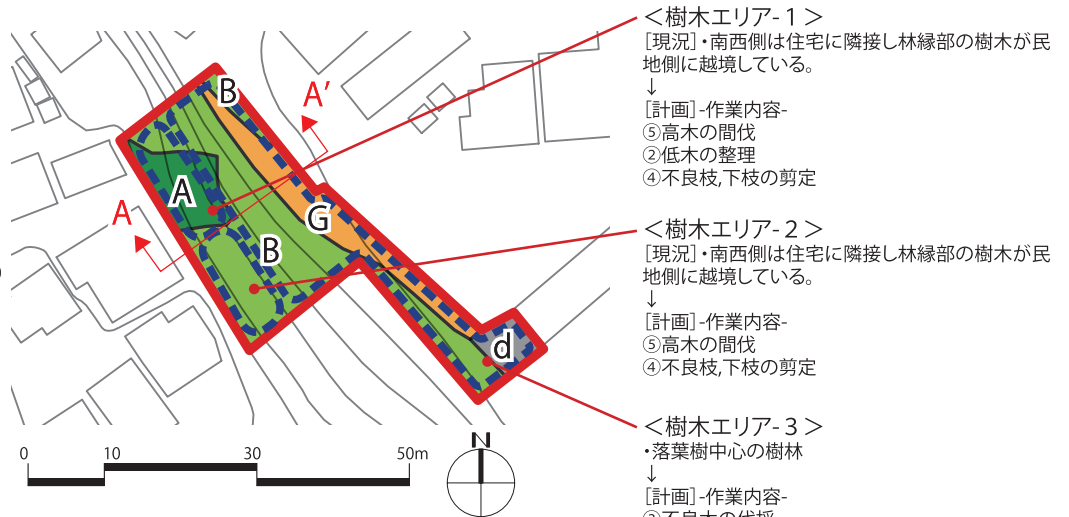
保全の方針 ◆継続的な植生管理を行い周辺住民の住環境(特に,南西側に位置する民家との隣接部に留意しつつ境界沿いを重点的に行う)の保全に配慮していく。

1) 樹木の管理区分

<現存植生図凡例>

- 対象区域
- A 常緑樹高木林(シラカシ林)
- B 落葉樹高木林(クヌギ・コナラ林など)
- C スギ・ヒノキ植林
- D モウソウチク・マダケ林
- E 常緑樹中木林(マテバシイ中木林)
- F 先駆性低木林(アカメガシワなど)
- G アズマネザサ群落
- a 草地(メヒシバ・アキノエノコロ群など)
- b ヨウシュヤマゴボウ群落
- c 植栽地(花壇など)
- d 裸地
- e 住宅地

<エリア区分凡例>

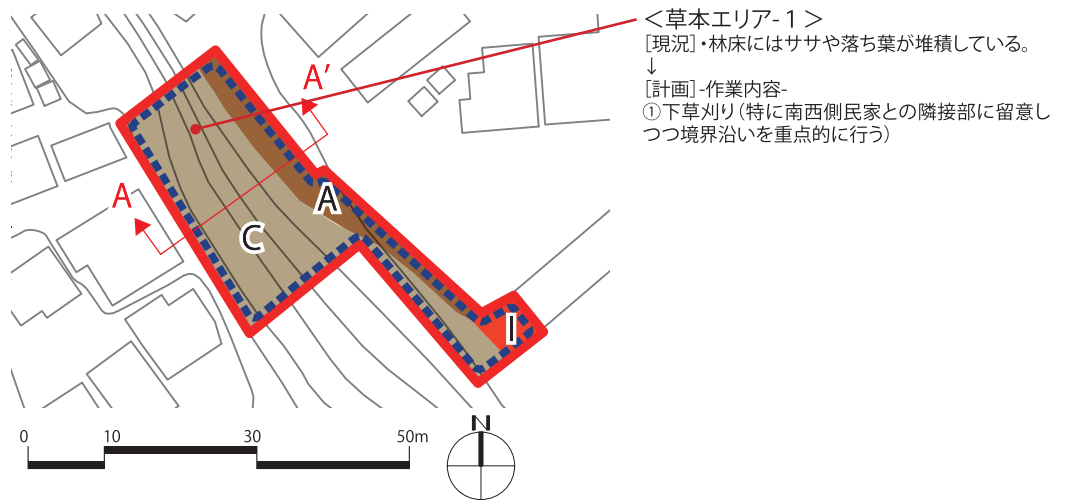


2) 草本類の管理区分

<林床植生図凡例>

- 対象区域
- A アズマネザサ型
- B 常緑低木・草本型
- C 常緑低木・無型
- D 落葉低木・草本型
- E 先駆性低木型
- F 草本型
- G 無型(落葉の堆積または裸地)
- H モウソウチク型
- I 人工裸地

<エリア区分凡例>



3) 作業内容

- 込み入った高木や低木、ササ類などについては、安全確保（特に、南西側に位置する民家との隣接部境界沿いに留意）のため密生の度合に応じて間伐や草刈りなどの管理作業を実施する。（定期的な管理は必要ない）
- 全体的に急こう配であり、林床の植物も貧弱であるため、人の立ち入りを抑制し地表面を保護する。
- 閉鎖的管理とし、作業は調布市で対応する。

① 下草刈り

- ◆ 草本やササ類を地際10cm程度で刈り取る。（刈り高を確保することで冬季の地表面の緑被が確保される）
- ◆ 草刈り作業は夏と冬に行う。（夏はササを抑え、冬は早春の植物の生育を促進する）

- ◆ 刈り取った草はその都度除去する。

② 低木の整理

- ◆ 同一種の常緑中低木類が多数密生している場合は、林床に光が入るよう適宜間伐する。

- ◆ 間伐した低木類は、1箇所にとめるか搬出する。

③ 不良木の伐採

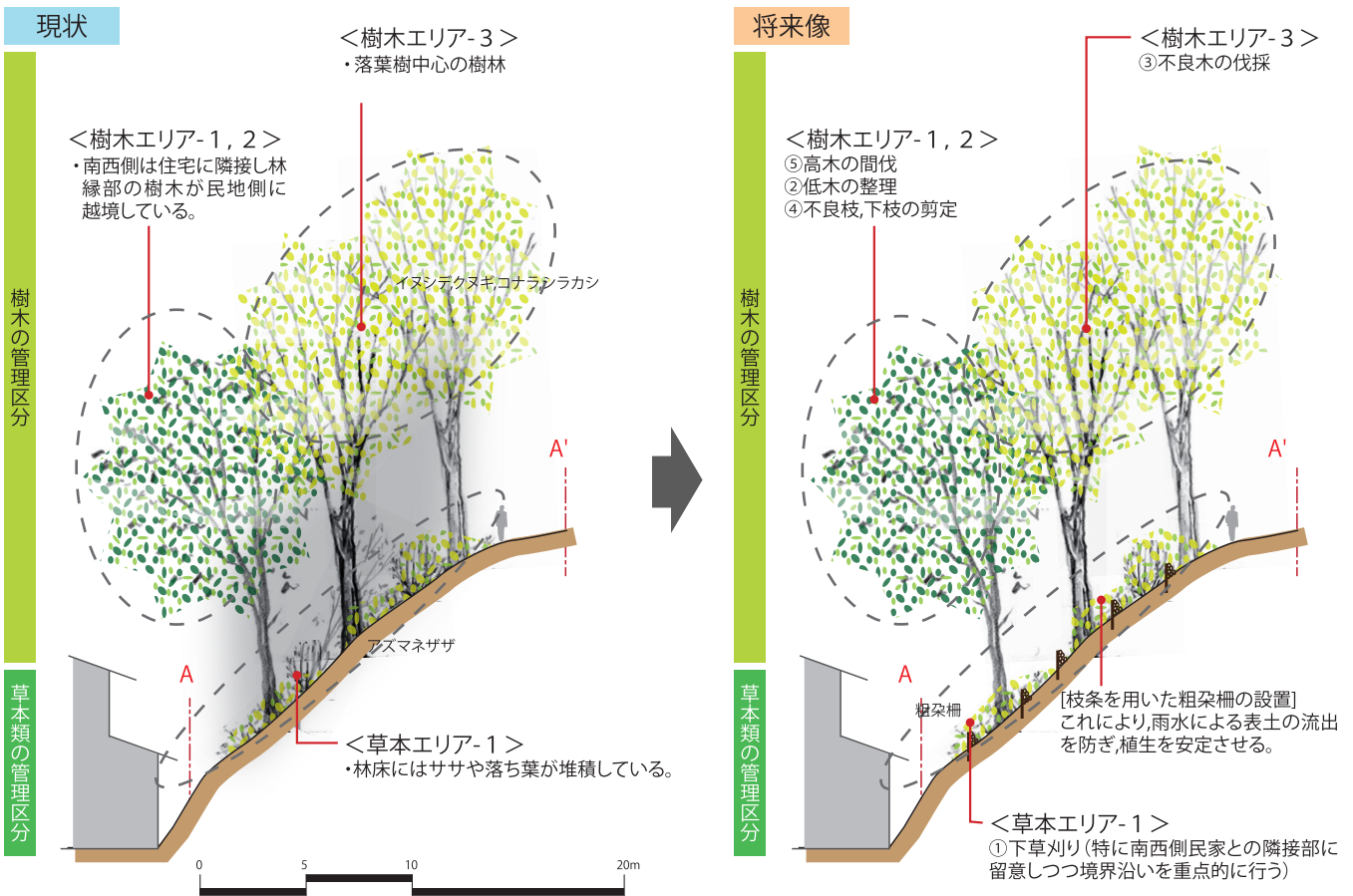
- ◆ 主幹が折れた木、枯れた木などほとんど再生の見込みがない不良木は、その都度除去する。

④ 不良枝・下枝の剪定

- ◆ 安全・見通しを確保するため、高木の余分な下枝、枯れ枝や葉の色の悪い大きな枝はその都度除去する。

⑤ 高木の間伐

- ◆ 高木が混み合っている場合は、林床に十分な光が届くよう適宜間伐を行う。



4) 作業内容とスケジュール

■ 年間のスケジュール

作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①下草刈り												
②低木の整理												
③不良木の伐採												
④不良枝・下枝の剪定												
⑤高木の間伐												

■ 今後10年間のスケジュール

作業内容	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
①下草刈り										
②低木の整理										
③不良木の伐採										
④不良枝・下枝の剪定										
⑤高木の間伐										

毎年実施する作業
 作業実施推奨時期
 作業実施推奨時期
 作業実施可能時期
 作業実施可能時期

2. 管理区分および施業計画

2

若葉町3丁目第4緑地

基本方針

利用の方針 ◆伐開間もない環境にあり、林床は貧弱で、保護の観点から、人の立ち入りは現状抑制的な管理とする。

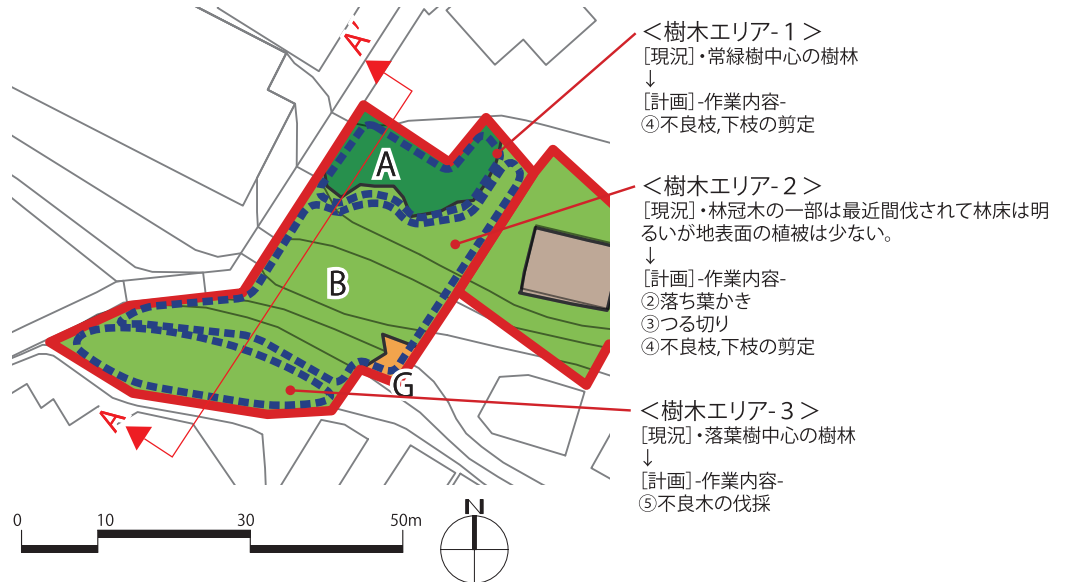
保全の方針 ◆コナラ、クヌギなどが優占する落葉樹主体の明るい雑木林としての保全を目指す。

1) 樹木の管理区分

<現存植生図凡例>

- 対象区域
- A 常緑樹高木林(シラカシ林)
- B 落葉樹高木林(クヌギ・コナラ林など)
- C スギ・ヒノキ植林
- D モウソウチク・マダケ林
- E 常緑樹中木林(マテバシイ中木林)
- F 先駆性低木林(アカメガシワなど)
- G アズマネザサ群落
- a 草地(メヒシバ・アキノエノコロ群など)
- b ヨウシュヤマゴボウ群落
- c 植栽地(花壇など)
- d 裸地
- e 住宅地

<エリア区分凡例>

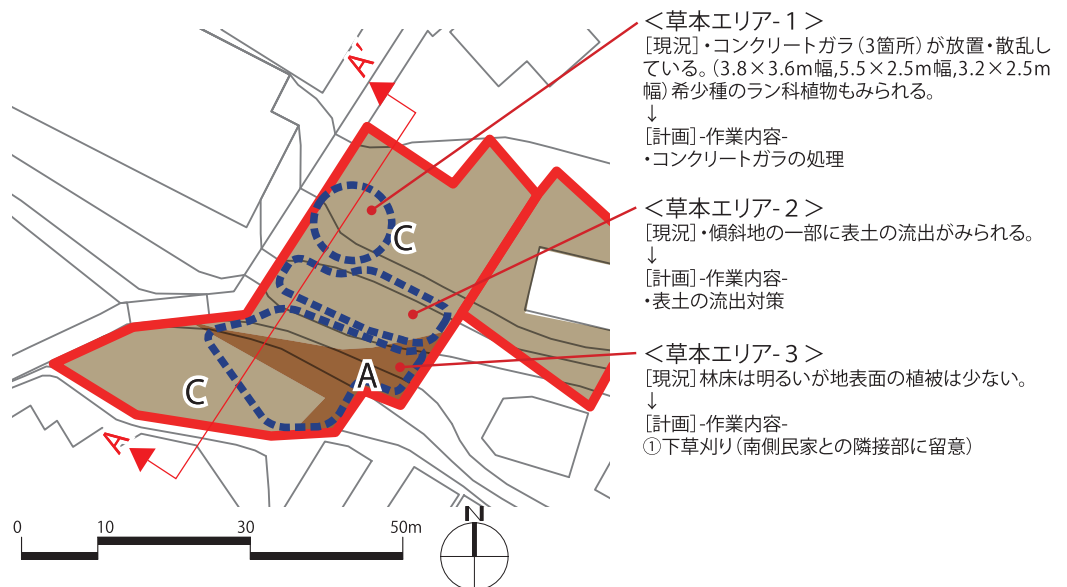


2) 草本類の管理区分

<林床植生図凡例>

- 対象区域
- A アズマネザサ型
- B 常緑低木・草本型
- C 常緑低木・無型
- D 落葉低木・草本型
- E 先駆性低木型
- F 草本型
- G 無型(落葉の堆積または裸地)
- H モウソウチク型
- I 人工裸地

<エリア区分凡例>



3) 作業内容

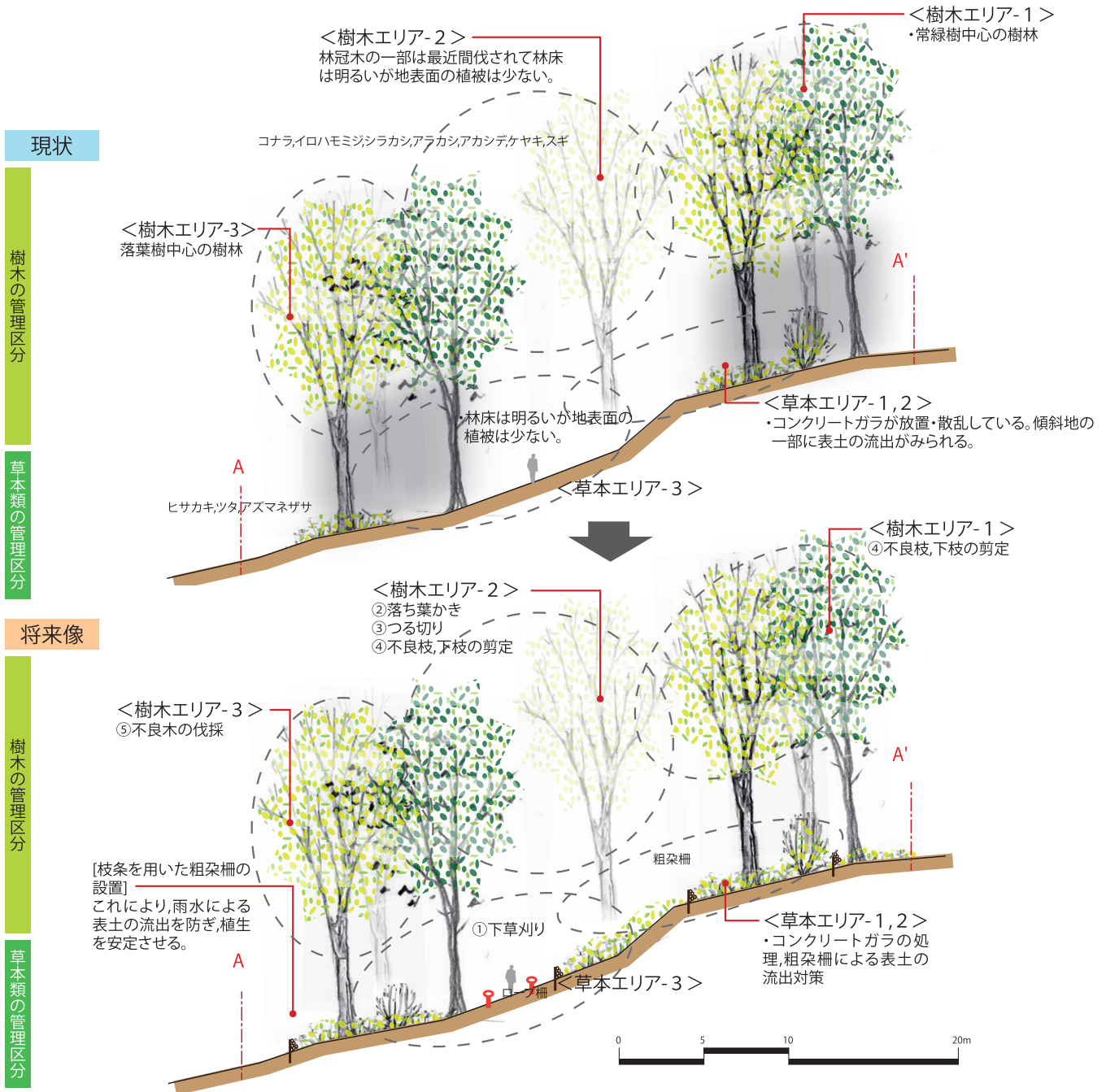
- 周辺住民が自然とふれ合える環境をめざし管理を行う。
- 林内への人の立ち入りを抑制し、地表面を保護するため周囲に柵等の設置を検討する。

- ①下草刈り
- ◆草本やササ類を地際10cm程度で刈り取る。(刈り高を確保することで冬季の地表面の緑被が確保される)

- ◆草刈り作業は夏と冬に行う。(夏はササを抑え、冬は早春の植物の生育を促進する)
- ◆刈り取った草はその都度除去する。
- ◆特に、南側民家との隣接部に留意する。
- ②落ち葉かき
- ◆堆積している落ち葉は取り除く。(林床植物の発芽の妨げとなる)
- ③つる切り

- ◆高木に絡みついている上つる植物は、根元から切る。(樹木の生育を阻害する。)
- ④不良枝・下枝の剪定
- ◆安全・見通しを確保するため、高木の余分な下枝、枯れ枝や

- 葉の色の悪い大きな枝はその都度除去する。
- ⑤不良木の伐採
- ◆主幹が折れた木、枯れた木などはほとんど再生の見込みがない不良木は、その都度除去する。



4) 作業内容とスケジュール

■年間のスケジュール

作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①下草刈り												
②落ち葉かき												
③つる切り												
④不良枝・下枝の剪定												
⑤不良木の伐採												

■今後10年間のスケジュール

作業内容	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
①下草刈り										
②落ち葉かき										
③つる切り										
④不良枝・下枝の剪定										
⑤不良木の伐採										

毎年実施する作業
 作業実施推奨時期
 作業実施推奨時期
 作業実施可能時期
 作業実施可能時期